

発行・日本共産党郡山地区委員会

〒963-8866 郡山市桑野清水台48-8 後藤ビル1F ☎922-3801 ㊟932-1903

Eメール jcpfskg@jcp-fukushima.gr.jp

平和・環境・よい政治

もったいない運動のマータイさん



福島県の「国際交流特別親善大使」に任命されたマータイさんと共に(2/14)

2月14日「もったいない運動」提唱者で環境分野でノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさん(ケニア)が来福し講演しました。環境問題から女性の地位向上の必要性を感じ、それを農村女性の実態からつかんだといひます。戦争がおきるのは、資源の平等化ができていないから。環境と平和、よい政治の三つのトライアングルが大切と強調し、平和のために「もったいない」精神を広めていきたいと話されました。

神山悦子



乗客が減り続ける毎年四億円の赤字の福島空港



自動車が見えない県道自動車道(トラハイ)

計画交通量3,400台/日に対し04年度628台/日

県政のムダ

これこそもったいない



一団二億円のブロックを海に捨てる小名浜人工島



議員任期中、議員は総額約六〇〇万円、議長、副議長二〇〇〇万円の海外視察予算を計上
一九九九年度ヨーロッパ視察、スイス・ゴルナクラード

根本から再検討を

神山から見た 県政ア・ラ・カルト

福島発 まちづくり条例の波紋

故郷のあまりの変わり様に愕然

西館牧子さん

「ふるさと」は遠きにありて思うもの。そして悲しくうたうもの。室生屋屋。郡山駅前大通りの改修で歩道のアーケードが撤去された。目の前に開けた空の高さ。その広さに市民は驚いた。そして眼下にむき出しになったのは全国チェーン店、消費者金融などのケバケバしい原色の看板が立ち並ぶ商店街とシャッター通り▼これでは日本全国が万博会場都市に、そしてこれはホラーだ」と喝破したのは劇作家の内館牧子さん。皆さん、ぜひ故郷を訪ねてみて、①町の中心部に人がいない、②繁華街はさびれ、③老舗の地元デパートはつぶれる寸前という雰囲気、④客は少ない、⑤郊外には大駐車場を備えた大きなショッピングビルが出ていて、買ひ物の車が次々に来る(週刊朝日22頁)

大型店の襲来は市場の略奪

子どもの教育環境を悪化・矢作弘教授

世界

泥棒と略奪は異なる。泥棒は所詮手工業。略奪は「戦争」などで住民の財貨などをほしうまに奪い取ること」と辞書は定義。福島県まちづくり審議会で大原市立大学の矢作弘教授は「市場主義・消費者主義の崩壊を掲げて突然襲来し、ひとのものを根こそぎ奪い取るような、略奪的な商売」とは、商店街は相容れない。本質的に、そうした競争に商店街が太刀打ちすることはできない」と主張(世界2月号)▼本紙前号で紹介したように、4号国道の横石町から大玉村まで38キロ間に売り場面積約13万㎡、駐車場約1万台を持つ大型6店舗がひしめく。これらが生き残りかけて死闘を展開したら、周辺の商店街の運命は眼前の如く。さらに、自動車の渋滞、排ガス公害の進行、子どもの教育環境の悪化、凶悪事件や幼児虐待の増加も相関関係があることを矢作氏は指摘している。

県民運動の積み重ねの成果

全国的広がり期待・神山悦子県議

議会と自治体

県内の各市町村の悩みは雇用問題。大型店はこれにつけ込み「出店すれば雇用が増える」と宣伝。実情は、神山悦子県議の調査によれば「2時間営業のイオンでは、正社員は、鏡石店が二八〇人のうちわずか三〇人。須賀川店は一五〇人のうち一八人、ほとんどがパートやアルバイト。しかも、切切の勤務で一日三時間から五、六時間程度の勤務で一ヶ月の収入は五万円前後しかない(議会と自治体・二月号)」。県民運動の積み重ねで、ついに県政を動かした。全国に福島県のような規制条例制定が広がるようにと神山県議は結ぶ。ぜひ一読を。

(S)

週刊朝日